



未来  
現在  
過去

将来展望

青色申告会 概況 会組織 女性部・青年部 事業 所在地 最新情報 青色だより 関連サイト

沿革

■ [青色21ネットへ](#) ■ [マスコミ報道へ](#)

## 会員増強と公益法人に向けて着実な一歩を

——青色21ネットワーク研究集会を尾道で開催!! (平成21年6月12日、尾道)



主催者代表として挨拶する河村林太郎代表幹事(中川会会長)



去る6月12日、広島県尾道市の尾道国際ホテルにて、第12回を迎える青色21ネットワーク研究集会が開催された。

近年の国税当局からの話題はe-Taxばかりだが、青色申告会の現状には、会員サービスの充実や会員増強のほか、地域社会により深く根ざすための公益法人化の活動など難しい課題が山積している。

これらの課題に対して具体的なアクションを起こすための内容に重点を置いたものであり、次の全国16会から総勢70名が参加した。

【参加会 \*南より】北那覇会、西福岡会、熊本東会、宮崎会、広島県連、広島西会、広島南会、尾道会、福山

会、名古屋中村会、中川会、浜松西会、小田原会、杉並会、西新井会、武蔵府中会（合計16会 \* 県連含む）

研究集会の冒頭で、青色21ネットワーク研究会代表幹事（本会会長）の河村林太郎氏を始め、尾道会幹部の地元歓迎挨拶があり、祝電披露等の後、次のテーマの研修に入った。

○研修1テーマ 我が会の会員増強策

武蔵府中会 事務局長 高橋敏三氏

○研修2テーマ 新公益法人化の準備

杉並会 参与 古達鎮夫氏

○研修3テーマ 公益法人化の対応

青色21ネット特別顧問 吉田文一氏 \* 事情により欠席

研修1では、(1)東京都内48青色申告会の青色コーナー活動成果(平成16~20年度)、(2)平成20年度会勢拡大運動成果(9202名入会、1万3986名退会、入退会の差はマイナス4784名)、(3)最近11年間の会員数ピーク時との比較など具体的なデータが紹介された。

このうち昨年1年間で東京都内の青色申告会で合計4784名の会員が減少したことは、1会平均会員数の3760名を超えており、1年間で1つの青色申告会以上の会員減少を意味する(このままではあと半世紀たらずで都内会全てが消滅する勢い)。この報告には会場からどよめきが起こったほどで、会員減少には極めて厳しいものがある。全国の青色申告会員数は一昔前は100万人と言われたが、現在では68万人にまで減っており、都内の青色申告会の会員数も軒並み減少を続けている。

このような中で、武蔵府中会は7年連続、江東東会は13年連続、杉並会は8年連続、渋谷会は2年連続会員増を維持してきたことは並大抵の努力ではない。

そこで、武蔵府中会における会員増強策の秘訣として、前年実績よりも高い目標を掲げて努力していることや、目標を明確にし、それを役職員が共有すること、自治体ホームページへのバナー広告や役職員による地元商店街の勧奨など戦略的な会員増強月間の取り組み、まだまだ会員増強の余地のある定年退職者や不動産貸付業者などの新規開業・新規青成者をターゲットにした勧奨など、多方面の努力について紹介された。

研修2では、公益法人の公益目的事業について、公益法人における事業区分ごとの事業名などに触れつつ、公益目的事業のチェックポイントなどを現在の青色申告会の活動に即して詳しい説明があったほか、公益社団法人青色申告会の定款雛形などが示され、クリアすべきポイントや具体的な課題について学んだ。

続いて、広島国税局個人課税課長補佐の鎌田建夫氏が「最近の税務行政と青色申告会への期待」と題して、主に、e-Tax など税務行政を始めとする電子政府構想やIT社会への進捗状況について詳しいお話をいただいた。

その後、特別記念講演として、財団法人矢崎科学技術振興記念財団理事長で元国税庁長官かつ元大蔵事務次官の尾崎護氏より「これからの人づくり」のご講話をいただいたが、その中でベンジャミンフランクリン、ハンス・クリスチアン・アンデルセン、高橋是清の3人の伝記や3人の共通点に触れながら、先賢自叙伝から学ぶ人づくりのありようを熱心に説かれた。

現在、公益法人化への準備を着々と進めている青色申告会の動きもあり、この秋口には具体的なアクションが少しずつ起こってくるものと予想される。また、この青色21ネットワークを通じて、会運営や今後進むべき方向とその手順を確認する貴重な場になっている。公益社団法人青色申告会の第一号誕生まで、すでにカウントダウンが始まったという手応えを感じさせる研究集会であった。



●ご意見・ご質問などお気軽にお寄せください。